

Rohm Music Friends[♯]

ローム ミュージック フレンズ

2019.3 | No.8

—ローム ミュージック ファンデーションの音楽文化支援情報誌—



ヨハネス・フェルメール「ヴァージナルの前に座る女」
A Young Woman seated at a Virginal

© The National Gallery, London - distributed by AMF /amanaimages



ローム ミュージック ファンデーションは
音楽を通して
豊かな文化をつくることを
目指しています。



Rohm Music Friends

No.8
2019.3

目次

- P03 活躍する奨学生 インタビュー
- P07 ローム ミュージック ファンデーション
音楽セミナー2018(管楽器クラス)
- P09 ローム クラシック スペシャル
小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXVII
- P11 ローム クラシック スペシャル
日本フィル コパケン・ワールド
- P12 新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演
- P13 ローム ミュージック フェスティバル2019
- P15 ローム ミュージック セミナー2019 宮田大・チェロクラス
- P16 ローム ミュージック フレンズからのお便り
- P22 ローム ミュージック ファンデーション ブログ
奨学生レポートより
- P25 ロームシアター京都
- P29 奨学生一覧

「ローム ミュージック フレンズ」とは 1991年の創立時以来、若い音楽家育成のためのさまざまな事業で関わった音楽家。
2019年2月現在 計4,420人
※複数の事業で関わった音楽家がいるため、各事業の人数合計とは一致しない。

奨学生	国内外の教育機関で音楽を学ぶ学生への奨学金の給付。	464人
音楽在外研究生	音楽家の一層の研鑽を図るための在外研究を援助。	64人
音楽セミナー受講生	プロの音楽家の育成を目的としたセミナー。 現在までに弦楽器クラス、管楽器クラス、指揮者クラスを実施。	318人
京都・国際音楽学生 フェスティバル出演者	国際交流と音楽家の育成を目的として、世界を代表する音楽学校から 音楽学生を京都に招いて開催するフェスティバル。	2,525人
小澤征爾音楽塾 塾生	オペラやオーケストラを通じて若手音楽家を育成するプロジェクト。	1,277人



活躍する 奨学生 インタビュー

VOL.8

Kazuaki Rikumoto

菊本 和昭 [トランペット]

2008年度奨学生

給付時の在籍学校:
カールスルーエ音楽大学



© Lasp Inc.

Profile

京都市立芸術大学首席卒業および同大学院首席修了。2002年、第19回日本管打楽器コンクール第1位。2003年、第72回日本音楽コンクール第1位および増沢賞、E.ナカミチ賞、聴衆賞受賞。2006年、第4回済州プラスコンペティション第2位。2007年、第3回リエクサ国際トランペット・コンクール第3位。2008年、エルスワース・スミス国際トランペット・ソロ・コンペティション第2位およびChosen Vale賞受賞。同年、ローム ミュージック ファンデーション奨学生として、また青山財団の助成を受けカールスルーエ音楽大学に留学。2004年より約7年間京都市交響楽団に在籍し、2012年にNHK交響楽団に首席トランペット奏者として移籍。京都トランペットグループ「SummerBreeze」、きょうと金管五重奏団、いずみシンフォニエッタ大阪各メンバー。

NHK交響楽団の首席トランペット奏者として、またその他幅広く活躍されている菊本和昭さん。音楽との出会いから奨学生時代、現在の活動までいろいろなお話をうかがってきました。

—音楽との出会いはいつごろですか。

トランペットを始めたのは、中学1年生の部活動がきっかけです。それまでは音楽に興味もなく、ピアノや弦楽器の方のように幼少期からの英才教育を受けたわけでもありません。ただ、父がグループ・サウンズ世代で、アマチュアでドラムを叩いていたのは知っていました。

そんななか、6歳上の姉が、吹奏楽が盛んな中学校に入り、そこで両親を含めて家族が吹奏楽にのめり込んでいきました。そうすると、姉のコンクールや演奏会などに連れて行かれるわけです。この時点でもまだ興味はありませんでしたが、これが私の音楽との出会いだと思います。

その後、姉と同じ中学校に入り、姉と両親から見学だけでも強く勧められ、結局、吹奏楽部に入ることになりました。最初はホルンを吹いていましたが、トランペットの先輩から「お前はラッパや」と半ば強引に引っ張られて今に至ります。すみません…夢のない話で。(笑)でも、練習をすればするほどできることが増えて、だんだんトランペットに夢中になっていきました。

—「希望とは違う楽器の担当になる」吹奏楽部の“あるある”ですね。でも、その後、吹奏楽の強豪校洛南高校吹奏楽部、そして京都市立芸術大学、京都市交響楽団と繋がっていきますね。

吹奏楽を続けたいという一心で高校を選び、兵庫から京都まで通っていました。大学は、当時の顧問である故・宮本輝紀先生に「音楽大学に進ま



© 佐々木卓男



インタビュー当日、ロームシアター京都にて

ないか?」とお声をかけていただき、京都市立芸術大学を受験しました。

演奏家として生きていこうと決めたのは大学3年生のころです。それまでは、将来のことよりもただトランペットが上手になりたい思っただけでした。当時流行っていたバスケットボールをテーマにした漫画があり、実はすごく影響を受けまして…そのなかで、海外留学を考える学生に対して先生が「とりあえず、日本一の高校生になりなさい」という名言があります。私は大学院まで進み、教員の専修免許状も取得し教師になることも考えましたが、「やはり、日本一のラッパ吹きになりたい!」と考えるようになり、大学院2年目の2004年4月に京都市交響楽団に入団することができました。

現在は、年に2〜3回、プロオーケストラのトランペット奏者のオーディションがありますが、2000年代前半は年に1回あるかないかのトランペット奏者的就職氷河期でしたね。

当時の京都市交響楽団のトランペットセクションには、京都市立芸術大学講師の有馬純昭先生と、私が高校のころから師事していた早坂宏明先生、大学の先輩である若林義人さん、そして地元が同じ宮村聡さんがいらっしゃり、私は有馬先生の後任のオーディションで入団しました。私にとっては、あのタイミングであるメンバーで、京都市交響楽団の席が空いたというのは運命的な有難いことでした。

—いろいろなご縁がオーケストラ入団にも繋がっているんですね。その後、2008年にカールスルーエ音楽大学に留学されましたが、学校選びなど何かきっかけがあったのでしょうか。

2004年の入団後、2年目までは慣れるのに必死で、やっと慣れてきた3年目で次は音を出すのが怖くなりました。特にピッコロトランペットという種類の楽器が、怖くて吹けなくなったのです。



左/当時住んでいた家の玄関先にて
左)カールスルーエ音楽大学トランペット科伴奏助手竹沢絵里子さん、
右)ラインホルト・フリードリッヒ先生と
上/フリードリッヒ先生50歳パーティにて

少し話が戻り、2000年、ラインホルト・フリードリッヒというトランペット奏者のリサイタルを大阪で聴きました。そこで私は「トランペットでこんなことができるのか」と衝撃を受け、ファンになりました。フリードリッヒ先生は、元フランクフルト放送交響楽団の首席奏者で、オーケストラもソロもできて、ピッコロトランペットの名手でもあります。その先生が教鞭をとっているのがカールスルーエ音楽大学だったので、吹くのが怖くなったときに迷うことなく留学先を決めました。カールスルーエはドイツの田舎町ですが、そこに世界中から才能のある学生が集まっていた。

ーカールスルーエ音楽大学での学生生活はいかがでしたか。

まず音楽以前に、生きていくのは大変だとつくづく感じました。言葉が分からないので、滞在ビザ取得にも外国人局に2ヵ月で10回以上通いました。外国人局だから外国人に優しいと思うでしょう？それが全然優しくない！「これは何ですか？説明できないなら出直してください。」といった感じです。また、私が滞在した2008年という年は歴史に残るユーロ高で1ユーロ=170円というときもありました。ルーム ミュージック ファンデーションさんからの奨学金がなければ、生活できていませんでした。日本の口座に振り込まれる奨学金を、いつ海外で受け取るか、毎日為替レートを確認していました。

大学のレッスンは、これまで私が逃げていた課題を全て指摘されて、それに向き合う日々でした。先生は4人、フリードリッヒ先生の他に、その師匠で世界的な重鎮エドワード・タール博士、そして

アシスタントとしてマンハイム国立歌劇場の首席トランペット奏者の2人、ラウラ・プロヴラトヴィッチさんとクラウド・ブレイカーさんがいらっしゃいました。「どうして小さい音のコントロールができないのか。ここがプロとアマチュアの違いだ」など、4人中4人に同じことを指摘されてショックでした。

印象的だったことは、例えば、パウル・ヒンデミット作曲のトランペットソナタのレッスンで、「この曲はね、第二次世界大戦の勃発直前にヒンデミットがその世界情勢を感じて作曲したので、最後の部分がこうなっているんだよ…」とその曲が生まれた背景まで教えてもらえたことなどです。もちろん、私は最初の“第二次世界大戦”というドイツ語から理解できず、電子辞書片手に必死で聞いていたわけですが。

どの先生からも、最初のレッスンで、英語がドイツ語のどちらが良いかを聞かれます。私はいつも迷わず「日本語をお願いします。」と返して笑わせていました。

1年間、カールスルーエで学んだことは今後も必ず活かしていきたいと思っています。

ー現在はNHK交響楽団の首席奏者としてご活躍ですね。

NHK交響楽団に移籍して、8年目に入りました。毎月の定期演奏会の初日は、テレビ収録とラジオの生放送があり、収録マイクが席のすぐ近くに置かれます。これはなかなか慣れないですね。2日目はそのマイクが取れてそこで安心してしまつとそれも危険です。常に試用期間中の気持ちで、



上/当時のカールスルーエ音楽大学
金管・打楽器科の練習場所
右/カールスルーエ歌劇場前の
モニュメント



緊張感を持ちながら、演奏家としても人としてもしっかり歩いていこうと自分にも言い聞かせています。

ーこれまでにコンクールでたくさんの賞を受賞され、2018年度の日本音楽コンクールでは審査員もされましたね。

大学のとき、オーケストラで演奏したいと早坂先生に相談すると、「実力があっても実績がないから呼べない」と言われました。それでは実績をつくらなければと、1997年からほぼ毎年コンクールを受け、オーケストラに入団した2004年以降は国際コンクールにも挑戦しました。演奏家が活動の幅を広げるには、どんどん前に出てアピールすることはとても大切だと思っています。

これから活躍される若い方には、ぜひもっと“ががつ”して欲しいですね。与えられるのを待っていたら、他の誰かに持っていかれる！教える側は自分が経験してきた範囲のことしか伝えられない。受け身ではなく、そこから何かヒントを得て、自分で考えて成長していけないと思います。

これまでのルーム ミュージック フレンズに金管楽器奏者は少ないですよ。金管楽器の学生たちに、奨学金の申請をしたかを聞いても、知らない子がまだ多いようです。せっかく支援して下さるところがあるのに勿体無いことです。

ー現在は後進の指導もされているのですね。今後の活動についてもお聞かせください。

あくまでもオーケストラプレーヤーという軸があつてですが、東京藝術大学で非常勤講師として指導もしています。

オーケストラ・ソロ・室内楽・後進指導の4つの活動の柱があり、その中心に家族という大切な存在がある。この形で今後も幅広く積極的に活動し、将来的には、80歳を超えた今も現役で活躍のトランペット奏者・北村源三さんに負けないように、私も吹き続けていきたいです。



□ 今後の演奏会予定

- ラ・フォル・ジュルネTOKYO
(ザ・チェンバー・プラス (金管五重奏))
2019年5月3日 (金)
東京国際フォーラム ホールD7
- 菊本和昭・岡本哲・佐竹裕介トリオ
2019年5月26日 (日)
大和高田市さざんかホール (奈良)
- サントリーホール チェンバー・ミュージック・ガーデン
2019年6月12日 (水)
サントリーホール ブルーローズ (東京)
- 菊本和昭トランペット・リサイタル
2019年6月29日 (土)
宗次ホール (愛知)
2019年9月22日 (日)
三豊市文化会館マリソウエーブ (香川)
- ザ・チェンバー・プラス N響メンバーによる金管五重奏
2019年10月20日 (日)
狛江エコルマホール (東京)



ローム ミュージック ファンデーション

音楽セミナー2018(管楽器クラス)

この音楽セミナーは、世界的に活躍している音楽家を講師に迎え、プロの音楽家の育成を目的に1992年より開催しています。

これまでに、「弦楽器クラス」「管楽器クラス」「指揮者クラス」と実施してまいりました。

受講生たちは、6日間の集中したソロと室内楽のレッスンを行い、朝から晩まで切磋琢磨して音楽を学びました。また、7日目最終日には京都府立府民ホール「アルティ」でコンサートを行い、若い音楽家たちのみずみずしい演奏を多くのお客様にお楽しみいただきました。

2018.12/17~12/23

セミナー : 2018.12/17~22

メルパルク京都

コンサート : 2018.12/23

京都府立府民ホール「アルティ」



コンサート(ソロ)



コンサート(室内楽)



コンサート(講師による模範演奏)



開催回数	開催期間	開催クラス
第1回~第8回	1992~1996	弦楽器(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)
第9回~第13回	1998~2002	管楽器(フルート、オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴット)
第14回~第23回	2003~2005, 2007~2013	指揮者
第24回~第27回	2015~2018	管楽器(フルート、オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴット)



フルート 工藤重典先生のレッスン



オーボエ 古部賢一先生のレッスン



クラリネット 山本正治先生のレッスン



ホルン 猶井正幸先生のレッスン



ファゴット 吉田将先生のレッスン



室内楽のレッスン

次回予告

ローム ミュージック ファンデーション 音楽セミナー2019(管楽器クラス) 受講生募集!

■開催概要 (予定) 2019.8/5(月)~11(日)

セミナー 2019.8/5(月)~10(土)

メルパルク京都

コンサート 2019.8/11(日)

ロームシアター京都 サウスホール

応募締切: 2019年5月31日(金)必着



詳しくはローム ミュージック ファンデーションのウェブサイトよりご覧いただけます。





ROOM クラシック スペシャル

小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXVII

小澤征爾音楽塾とは?

指揮者の小澤征爾さんをはじめとした一流の音楽家がオペラを通じて若手音楽家を育成することを目的に2000年からスタートした教育プロジェクト。恩師であるカラヤンの言葉「シンフォニーとオペラは音楽という車の両輪のようなものだ。両方勉強することが大事」を持論とする小澤さんは、その実践の場として小澤征爾音楽塾公演を開催しています。ROOMは活動が始動した2000年より、その公演活動を継続的に支援しています。

ビゼー:歌劇「カルメン」 [全4幕](原語上演/字幕付)

2019.3/15・3/17 ROOMシアター京都
3/21 よこすか芸術劇場
3/24 東京文化会館

音楽監督:小澤征爾
指揮:クリスティアン・アルミンク/小澤征爾
演出:デイヴィッド・ニース
管弦楽:小澤征爾音楽塾オーケストラ
合唱:小澤征爾音楽塾合唱団
児童合唱:京都市少年合唱団
出演:サンドラ・ピクス・エディ、チャド・シェルトン、ケイトリン・リンチ、エドワード・パークス他

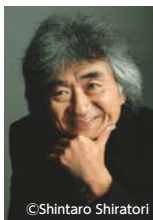


VOICE

音楽監督からの公演前メッセージ

2000年にROOM株式会社の佐藤研一郎社長(当時・現名誉会長)のご支援で「小澤征爾音楽塾」を立ち上げて以来、オペラの制作と公演を通じて、私が最も信頼を寄せるサイトウ・キネン・オーケストラメンバーでもある先生方とともに、オーディションで選ばれた若い音楽家たちへの教育を続けてきました。今回は2017年に大好評だった「カルメン」を再び取り上げます。当たり役のカルメンはじめ主要キャストが戻ってきてくれて、デイヴィッド・ニースの演出で、あの迫力ある舞台が帰ってきました。今年も国内外(日本、中国、台湾、韓国)の厳しいオーディションで選ばれた若い音楽家たちで、オーケストラを結成します。彼らが、先生方の指導のもと、世界の第一線で活躍する歌手や演出家と一緒に、オペラをつくり上げていくことは、何よりの経験になります。また子どもたちにオペラにふれてもらうために、今年も京都府内の50校以上の小学生たちを招待して、生のオペラを楽しんでもらいます。世界的にも他に類を見ないこの教育プロジェクト、そこでつくれるオペラは、音楽の喜びとエネルギーに満ちあふれています。

小澤征爾音楽塾 音楽監督 



©Shintaro Shiratori

2017年に上演されて大好評だったオペラ「カルメン」が、2人の指揮者によって披露されました。ROOMシアター京都を拠点とした音楽塾の生徒たちは、一流の講師の方々から指導を受け、オペラの制作に励みました。世界で活躍する歌手たちの素晴らしい歌声と、若い音楽家で結成されたオーケストラが支える演奏に、多くのお客様が酔いしれました。



©大窪道治

子どものためのオペラ 歌劇「カルメン」より (原語上演/字幕付) 2019.3/12 ROOMシアター京都

「子どものためのオペラ」は、「本物のオペラを体験してほしい」という小澤征爾さんの思いから生まれた、小学生を対象とするオペラ公演です。京都の小学生約3,000人を無償招待し、公演を鑑賞していただきました。はじめにオーケストラの各楽器が工夫を凝らした演出で登場し、空であったオーケストラピットが徐々に埋まっていきます。そして本番では、本公演のカバーキャスト(控え歌手)が出演し、歌劇「カルメン」全4幕のうち第1幕を抜粋して披露され、小学生たちはその豪華なステージを楽しみました。



©上仲正寿

小澤征爾音楽塾 オーケストラメンバーによるミニコンサート

2019.3/16
京都国立近代美術館、京都市動物園

小澤征爾音楽塾のオペラの制作拠点としているROOMシアター京都周辺で無料のミニコンサートが行われました。演奏者が目の前でさまざまな音楽を演奏し、お客様に親しんでいただきました。



京都国立近代美術館



京都市動物園
©大窪道治

次回予告

小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXVIII

J.シュトラウスⅡ世:喜歌劇「こうもり」 ROHM CLASSIC SPECIAL

2020.3/20(金・祝)・3/22(日) ROOMシアター京都
3/25(水) 東京文化会館
3/29(日) 愛知県芸術劇場



©大窪道治



公演情報 <https://ozawa-musicacademy.com>

音楽監督:小澤征爾
管弦楽:小澤征爾音楽塾オーケストラ



ローム クラシック スペシャル
コバケン・ワールド
Vol.19~21, in YOKOHAMA

2004年から「コバケン・ガラ」というタイトルで始まった、指揮者の小林研一郎さん自ら楽しく分かりやすくナビゲートし、指揮をするという人気のシリーズで、タイトルを新たに「コバケン・ワールド」として7シーズン目を迎え、その人気ぶりに拍車がかかっています。

ロームは、この「コバケン・ガラ」/「コバケン・ワールド」シリーズへの支援を第1回から継続的に14年間、今シーズンを含め計40回実施しています。

2018年度も、ピアノの仲道郁代さん、チェロの辻本玲さん、ヴァイオリンのアラベラ・美歩・シュタインバッハーさんという豪華ソリストによりお客様に特別なときをお届けしました。



Vol. 19 2018.6/24
サントリーホール



In YOKOHAMA 2018.7/1
横浜みなとみらいホール



Vol. 20 2018.10/28 東京芸術劇場



Vol. 21 2019.3/10 サントリーホール



次回予告

2019年度も開催! コバケン・ワールド Vol.22~24

- Vol.22 2019.9/14(土) サントリーホール 出演:伊藤 寛隆(クラリネット)、真鍋 恵子(フルート) 他
- Vol.23 2019.11/9(土) サントリーホール 出演:河村 尚子(ピアノ) 他
- Vol.24 2020.1/25(土) 東京芸術劇場 出演:千住 真理子(ヴァイオリン) 他



平成30年度 新国立劇場
高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演「魔笛」

若い世代に、優れたオペラを鑑賞する機会を通して芸術文化の素晴らしさを伝えるため、新国立劇場にて1998年からスタートしたこの鑑賞教室。2008年からは関西でも開催し、2016年からはロームシアター京都で開催されています。

音楽文化の普及と発展には、優秀な音楽家の育成とともに音楽ファンの拡大も重要との考えから、ローム株式会社は1999年から、ローム ミュージックファンデーションは2008年から毎年継続的に支援しています。

今年も2日間・約2,400人の感性豊かな高校生が鑑賞し、大盛況のうちに幕を閉じました。

この鑑賞教室が、多くの高校生にとって、オペラに親しみそして楽しむきっかけになることを願っています。



2018.10/29, 31
ロームシアター京都
メインホール



提供:新国立劇場、舞台写真撮影:寺司正彦

Voice

鑑賞した高校生の声 アンケートより

- ・あまりの演技力と歌声に圧倒され、見とれてしまいました。
- ・有名な夜の女王のアリアがすばらしかったです。美しい声の響きに鳥肌が立ちました。
- ・プロジェクションマッピングが新しい感じがしておもしろかったです。

ROHM MUSIC FESTIVAL

ローム ミュージック フェスティバル

2019

2019.4/20[土]・21[日]

ロームシアター京都
[メインホール/サウスホール/ローム・スクエア]

ロームシアター京都が素晴らしい音楽に溢れる2日間!
国内外で活躍するロームミュージックフレンズなど
豪華出演者による音楽祭!

4/20
[土]

リレー コンサート A 歌手と器楽奏者による「モーツァルト・ガラ・コンサート」

13:00開演 サウスホール S 3,000円/A 1,500円
W.A.モーツァルト : ピアノ・ソナタ 第11番 イ長調 K.331より 第3楽章「トルコ行進曲」
フルート四重奏曲 第1番 二長調 K.285より 第1楽章
歌劇「フィガロの結婚」K.492より「自分で自分が分からない」
歌劇「ドン・ジョヴァンニ」K.527より「手を取り合って」ほか

オーケストラ コンサート I 阪哲朗と京都市交響楽団による「ベルリオーズ没後150年記念」スペシャル・プログラム

15:30開演 メインホール S 4,000円/A 2,500円/B 1,500円
H.ベルリオーズ : 劇的交響曲「ロメオとジュリエット」Op.17より
幻想交響曲 Op.14

リレー コンサート B ローム ミュージック フレンズ 木管&弦楽スペシャル・アンサンブル

18:30開演 サウスホール S 3,000円/A 1,500円
G.ロッシーニ : 歌劇「セビリアの理髪師」より/山本 真 編 (木管アンサンブル)
G.ビゼー : 「カルメン」組曲より/山本 真 編 (木管アンサンブル)
F.メンデルスゾーン : 弦楽八重奏曲 変ホ長調 Op.20 (弦楽アンサンブル)

4/21
[日]

オーケストラ コンサート II 二大コンチェルトの饗宴 ~日下紗矢子・反田恭平 with 京都市交響楽団~

14:30開演 メインホール S 4,000円/A 2,500円/B 1,500円
J.オッフェンバック : 喜歌劇「天国と地獄」序曲
F.メンデルスゾーン : ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 Op.64
P.I.チャイコフスキー : ピアノ協奏曲 第2番 ト長調 Op.44

リレー コンサート C 河村尚子ピアノ・リサイタル~偉大なるベートーヴェン~


17:30開演 サウスホール S 3,000円/A 1,500円
L.v.ベートーヴェン : ピアノ・ソナタ 第27番 ホ短調 Op.90
ピアノ・ソナタ 第26番 変ホ長調 Op.81a 「告別」
ピアノ・ソナタ 第29番 変ロ長調 Op.106 「ハンマー・クラヴィア」

各コンサートの出演者はP14の記号A~C、I、IIをご参照ください。

ローム・スクエア 野外特設ステージで行う学生たちによる楽しいコンサート(無料公演、天候によっては中止の場合あり)

特設サイトをオープン!

公演の詳細はこちらをご覧ください。
ローム ミュージック ファンデーション



主催: 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション 共催: ローム株式会社
後援: 京都府、京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

チケット
お取り扱い

- ロームシアター京都チケットカウンター 075-746-3201
 - チケットぴあ 0570-02-9999 <http://t.pia.jp/> [Pコード:135-237]
 - エラート音楽事務所 075-751-0617 ほか
- チケットは全席指定・消費税込です。(ローム・スクエア公演を除く)。
未就学児のご入場はご遠慮ください。(ローム・スクエア公演を除く)。
都合により出演者、曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。



出演者

市原 愛©Akira Muto 藤木 大地©hiromasa 倉田 優©浦野俊之 大江 馨©Shigeto Imura 田原 綾子©Hisashi Morifuji 高木 慶太©読売日本交響楽団
北爪 裕通©IRCAM-Deborah Lopatin 阪 哲朗©Florian Hammerich 京都市交響楽団©伊藤菜々子 高橋 臣宜©上野隆文 高橋 洋太©Shigeto Imura
青木 調©池上直哉 日下 紗矢子©Kiyoaki Sasahara 河村 尚子©Marco Borggreve

ローム ミュージック セミナー

ROHM MUSIC SEMINAR 2019

世界で活躍するローム ミュージック フレンズによる
音楽家育成セミナー

2019.8/5[月]-8/10[土]

セミナー : 2019.8/5 (月) ~8/9 (金)

コンサート : 2019.8/10 (土)

ロームシアター京都 サウスホール

※受講生の募集は2019年2月28日に締め切りました。

宮田大・チェロクラス

ローム ミュージック ファンデーションは2019年より新企画として、国内外で活躍するローム ミュージック フレンズ(過去に奨学援助などで支援した音楽家)を講師としたローム ミュージック セミナーを開催します。

このセミナーでは、世界を舞台に活躍する音楽家を目指す方へレッスンを行います。

今回のシリーズで講師を務めるローム ミュージック フレンズは、第9回ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールで日本人として初優勝し、その後、国内外で活躍しているチェリストの宮田大さんです。

また、本セミナーの最終日には成果発表のコンサートを行い、受講生のソロ、アンサンブルに加え、講師である宮田大さんの演奏も行います。



©大森大祐

宮田 大(チェロ)

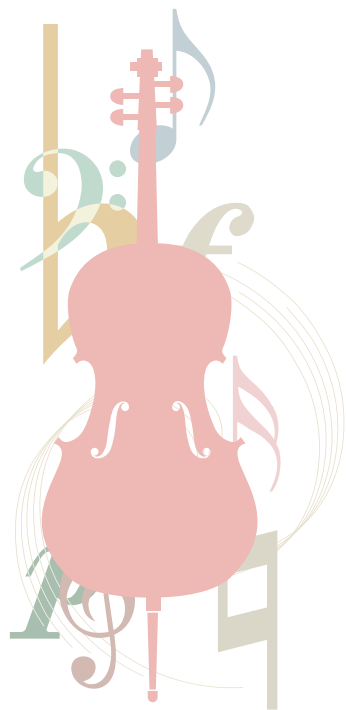
<2010~2012年度奨学生>
<2003、2004年小澤征爾音楽塾塾生>

国内外で出場するすべてのコンクールに優勝。ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールでは日本人初優勝を飾る。希少な銘器を2丁貸与されており、国内外で演奏活動を活発に行っている。テレビなどへの出演も多い。

Voice

講師からのメッセージ

私はローム ミュージック ファンデーションの奨学生として海外で学び、そこで自分の生きてきたことへの自信をもつことが大事だと感じました。これから世界を舞台に活躍するには自分らしさを見つめることが必要です。このセミナーではまずは音楽を愛することを念頭に自己表現するのに何が大切かを知るようなレッスンを行いたいと思います。これから世界を目指す方々にはぜひセミナーを受けていただき、一緒に学んで行って欲しいです。



ローム ミュージック フレンズからの

お便り

The letter from rohm music friends

ローム ミュージック フレンズから届いた
ご活躍の様子を一部ご紹介いたします。(順不同)

氏名【専攻】 援助年度
給付時の在籍学校



浜松国際ピアノコンクール

むかわ けいこ
務川 慧悟 [ピアノ] 2015、2016年度奨学生

パリ国立高等音楽院



©浜松国際ピアノコンクール事務局

第10回浜松国際ピアノコンクールで第5位をいただきました。賞そのものに加え、浜松で過ごした「音楽に悩み、没頭し、そして憧れた日々」は、これからも続くであろう僕の音楽人生にとって、かけがえのない意味を持ってくれるのだと思います。そんなこともきっかけとなり大きな演奏会のお話も少しずついただくようになった今、身が引き締まるとともに、音楽に対しては、何ら変わらぬ純粋な思いをこれからもずっと持ち続けられたいと思っています。



第10回浜松国際ピアノコンクール、ファイナルでの演奏と授賞式にて



名器とのご縁とCDのJAL国際線オンエア

かの えいこ
加野 景子 [ヴァイオリン] 1992、1993年度奨学生

カトナーアカデミー音楽院



©藤谷静志

頸椎損傷の術後、娘3人の出産、子育てで一時活動から退いていましたが、現在はニューヨークにて活動復帰しています。昨年より「マンハッタン ストーリー」という自作の物語とヴァイオリン小品を融合させるプロダクションがニューヨークで非常に高く評価され、昨年JAL国際線の機内音楽にオンエアされました。続編となる2枚目のCD録音が完了したところです。現在、日本音楽財団よりストラディバリウスを貸与され、2019年夏には日本でもツアーが予定されています。



©吉丸尚住



「マンハッタン ストーリー」のナレーションを地元の中学生が英語で担い、ともにつくり上げた学校訪問の様子



海外でのコンクールと、素晴らしい出会い

くらだ てっぺい
黒田 哲平 [ピアノ] 2017、2018年度奨学生

桐朋学園大学



©Shigeta Imura

2019年2月、セミナーとコンクールを受けるために、ポルトガルへ行きました。ポルトガルの風情ある街並みや、おいしい料理など、印象に残ったことは枚挙にいとまがありません。セミナーでは参加者や先生方から多くの刺激を得ることができ、第4回フィゲラ・ダ・フォズ国際ピアノコンクールでは第1位を受賞しました。帰国前には、ドイツにて憧れていた先生のレッスンを受けることができ、留学やその他のことがぐっと身近に感じられるようになりました。充実した滞在になり、とても幸せに思います。



上ノポルトガルでのコンクール、オーケストラとのリハーサルにて
下ノドイツ南部にあるノイシュヴァンシュタイン城



シオスタコーヴィチとベートーヴェンと

みやけ まみ
三宅 麻美 [ピアノ] 1997、1998年度奨学生
イモラ国際ピアノアカデミー



エルミタージュ美術館オーケストラとシオスタコーヴィチのピアノ協奏曲第1番を共演



シオスタコーヴィチ生誕100年の2006年にシリーズを開始。24の前奏曲とフーガ全集CDを邦人として初めて発売し、好評を得ることができました。2010年にはピアノソナタと室内楽、2つのベートーヴェン・ツィクルスを開始。お陰様で完璧いたしました。2019年は、ベートーヴェン・イヤーに向けてのプライベートとして、ディアバリ変奏曲を中心としたプログラムでソロリサイタルのほか、毎年の韓国公演などアンサンブルも多数予定しています。



ベートーヴェンピアノソナタ全曲演奏会にて

やむを得ない理由でコンサートに参加できない方々に音楽を

えぐち てるひろ
江口 輝博 [テノール] 2007、2009～2011年度奨学生
AIDA音楽院



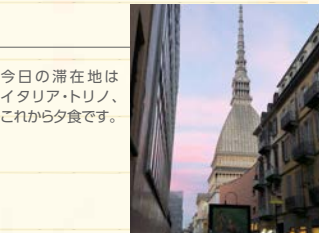
オペラ出演や第九のソリストなどの活動を行いながら、近年は私自身の家族の介護もあり、2018年に音楽工房Girasole(ジラソーレ)を設立しました。音楽工房Girasoleは、やむを得ない理由でコンサートに参加できない方々に「本格的な音楽」を届ける社会貢献活動を行う団体です。ローム ミュージック ファンデーションのおかげで学んだことを、感謝を込めて伝えていければと思っています。



上/ローマフェスティバルでドニゼッティ作曲「愛の妙薬」ネモリン役
下/ベートーベン作曲「交響曲第九」テノールソロ

ヨーロッパ放浪生活

あかさか ともこ
赤坂 智子 [ヴァイオリン] 2005～2008年度奨学生
ジュネーブ音楽院



今日の滞在はイタリア・トリノ、これから夕食です。

長らくフリーランスでヨーロッパを中心に主に室内楽、ソロで活動していましたが、ここ数年から後進の指導にもあたるようになり、ミュンスター音楽大学の教授に就任しました。2018年は演奏以外にドイツ・ベルリンで開かれるマックス・ロスタル国際コンクールの審査員としてそうそうたるメンバーのなかで招待いただく光栄にあずかり、重責に緊張しつつも、少しずつヨーロッパの文化を現地継承していける感謝と喜びを感じています。録音した新しいCDも2019年春に発売予定です。



今日はハンブルグ、エルプフィルハーモニーでのカルテットのコンサート。売り切れ御免2,000人以上の観客で緊張!!



第46回サントリー音楽賞受賞記念コンサート

ふくやま なおこ
福山 直子 [打楽器] 1995年度奨学生
フライブルク音楽大学大学院



「広上淳一と京都市交響楽団」に贈られたサントリー音楽賞の受賞記念コンサートが2017年9月18日にサントリーホールで行われ、冒頭で演奏した武満徹作曲「From me flows what you call Time～5人の打楽器奏者とオーケストラのための～」にソリストとして出演しました。客席へ伸びる5色のリボンで鈴を鳴らすなど、とても大掛かりな作品で、準備段階から苦戦しましたが、めったに演奏できないこの美しく瞑想的な曲に取り組むことができ、とても幸せでした。これからもチャンスがあればさまざまな作品に挑戦していきたいと思っています。



上/5色それぞれの衣装を着て演奏する打楽器のソリストたち
下/本番を終えた広上マエストロと打楽器のソリスト5名

ウィーンでの素敵な出会い

きくち ようこ
菊池 洋子 [ピアノ] 2002、2003年度奨学生
イモラ音楽院



ウィーンに移り住んで2年半が経ちました。今年に入り、以前からお会いできたらと願っていたパウル・パドゥラ=スコダさんとご縁があり、レッスンを受けています。作品と向き合うスコダ先生の探究心、好奇心、歌心にあふれる演奏を間近で聴き、先生からのお言葉やご一緒させていただく時間は私にとって宝物です。長く弾いているレパートリーでも、毎回必ず新たな発見と成長ができることに喜びを感じます。今年の活動は、主に兵庫県立芸術文化センターでのモーツァルトプロジェクト「音のパレット」、NHK交響楽団、東京交響楽団定期、神奈川フィルハーモニー管弦楽団との共演、地元前橋で弾き振り、そのほか室内楽も積極的に取り組みます。



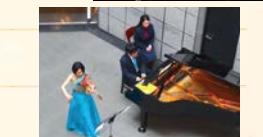
上/ザルツブルクのモーツァルト大ホールにて。モーツァルト管弦楽団定期演奏会でベートーヴェン4番を演奏(2018年5月)
下/フェニクス・アルゼンチン国立交響楽団定期演奏会にて、モーツァルトピアノ協奏曲ジュノを演奏、お客様のスタンディングオベーションにこの表情

フォーレ:ヴァイオリンとピアノのための作品集

うえむら りよ
植村 理葉 [ヴァイオリン] 1997、1998年度奨学生
ローザンヌ音楽院



留学をしているときから、ヨーロッパでコンツェルトをたくさん演奏してきましたが、近年はソロでの活動の他、学生音楽コンクールの審査員を務めたり、夏期講習を開いたり、後進の指導にもあたっています。時折ベルリンにも住み、演奏活動に限らずオペラを聴きに行くなど、ドイツやヨーロッパの土壌から来るパワーを吸収しています。2019年春も東京文化会館でリサイタルを行います。以前リリースされたCDも特選盤などに選ばれました。ローザンヌや、ケルン、ベルリンで学んだ多くのことはもちろん、人間として生きてきた日々が“生き物”として演奏で生命を得ていき、循環していくのだと感じています。



上/CDジャケット。レコード芸術特選盤になりました。
下/美術館コンサート 埼玉県近代美術館 ピアノ:佐藤彦大



現代に生きる音楽を伝えたい

おおくぼ あやこ
大久保 彩子 [フルート] 2006、2007、2009年度奨学生
ストラスブル国立地方音楽院



上/子供向けコンサート終了後の交流の様子
下/ヴェネツィア・ピエナーレ2017にて

奨学生として現代音楽を学ぶ機会をいただいた後、アンサンブル“HANATSUmiroir”をフランスにて立ち上げ、アーティストックダイレクター兼フルート奏者として公演の企画構成および演奏活動を行っています。作曲家や多様なジャンルのアーティストとの企画を、ヨーロッパを中心に世界各国で発表しています。昨年は団体として2度目の日本ツアーを行うことができました。現代音楽を通しての教育活動にも力を入れており、子供向けの公演やアトリエも開催しています。



©Gregory Massat



ドイツにて音楽祭とマスタークラス

たなか あきこ
田中 晶子 [ヴァイオリン] 1994、1995年度奨学生
ギルドホール音楽院



音楽祭でシューマンのピアノ五重奏を演奏。現地新聞の批評に出た写真です。

ドイツ・デュッセルドルフ近郊のとある町で行われた音楽祭に招待され、10日間、毎日違うプログラムでリハーサルと本番というとてもハードかつ素晴らしいレベルの音楽をつくり上げていく貴重な時間を過ごしました。その後、ドイツ国内を移動し、マスタークラスを開催しました。ここでもコンサートが毎日開催され、参加者の生徒も教授陣も演奏とレッスンに大変充実した、まさに言葉通り音楽三昧の日々を過ごしました。



ケルン音楽舞踊大学の声楽の教授、フランクフルト音楽・舞台芸術大学のチェロの教授の方々とコンサート後の打ち上げで



音楽が繋いでくれた素晴らしいご縁に感謝!

ふじたに かなえ 2009.10~2011.9 音楽在外研究生
藤谷 佳奈枝 [ソプラノ] 2013年度奨学生
イタリア国立バルマ音楽院大学院 “アッリーゴ・ボーイト”



ソリストとして出演した小澤征爾さん指揮「こどもと魔法」がグラミー賞を受賞したことは何にも代えられない体験でした。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団およびNHK交響楽団「第九」ソリスト・デビューの2018年も幸せな音楽で満ちていました。また、NHK「北斎インパクト」では番組内の歌を担当し、ワールドメディアフェスティバルにてメディアグローブ金賞を受賞しました。今の私があるのはローム ミュージック ファンデーションのおかげであり感謝の気持ちでいっぱいです。“人の心を癒せる歌手”になれるよう、これからも邁進したいと思います!



上/ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団「こどもと魔法」終演後
下/NHK交響楽団「第九」終演後



よい演奏に向けて

くろかわ ゆう
黒川 侑 [ヴァイオリン] 2016、2017年度奨学生
桐朋学園大学院大学 エコール・ノルマル音楽院



日本とフランスを行ったり来たりではありますが、院のディプロマを取得後もいろいろなところで経験を重ねています。以前、参加したマスタークラスで他の参加者のレッスンを聴講した際、レッスンでこれほど完璧に演奏する人がいるのかとショックを受けました。それ以来、やりたい音楽に近づくための技術について意識してきましたが、少しずつ前進できているように感じるのとはとても嬉しいことです。支援していただいていることで、このような経験を自由に積むことができたことは本当に貴重なことでした。2019年1月末に始まったリサイタルのシリーズやこれからの室内楽の機会をはじめ、さまざまところでよい演奏ができるよう、これからも研鑽を積んでいきたいと思っています。



上/ イタリアのホールで室内オーケストラとの演奏
下/ 劇場での演奏会

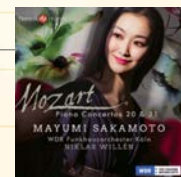


新たな発見を求めて

さかもと まゆみ
坂本 真由美 [ピアノ] 2005~2008年度奨学生
ハノーファー音楽演劇メディア大学



ドイツ留学を終えて拠点を日本に移し、欧州や米国など海外だけでなく、日本でも演奏活動を広げています。2019年2月から3月にかけては、米国ニューヨークとワシントンDC、さらに東京で、幻想曲をテーマにコンサートツアーを開催しました。CD「モーツァルトピアノ協奏曲20&21番」(共演WDRケルン放送管弦楽団)のリリースや、母校の東京芸術大学での指導など、活動の幅を広げることも挑戦しています。教える機会も増えましたが逆に教えられることも多くあり、新たな発見のある演奏をこれからも追い求めていきたいと思っています。



上/ CD「モーツァルトピアノ協奏曲20&21番」(共演WDRケルン放送管弦楽団)
下/ 静岡交響楽団との共演の様子



CD「霧の中から~英国ヴァイオリン曲集」リリース

おの あきこ 2001、2002年度奨学生
小野 明子 [ヴァイオリン] 2006.10~2008.9 音楽在外研究生
ウィーン国立音楽大学



この度、3枚目のCD「霧の中から~英国ヴァイオリン曲集」をリリースしました。12歳から過ごしてきた英国の優れた音楽(エルガー、ウォルトン、ブリッジ、スコット、V.ウィリアムズ、フィンジの作品)の響きをリスナーの皆様と共有したいという思いから、今回のレコーディングが実現しました。これからも演奏活動や英国ギルドホール音楽院、メニューイン音楽院などでの指導を通して、いろいろな角度から音楽と接し、多くの方々との繋がりを大切に歩んでまいりたいと思っています。



CD「霧の中から~英国ヴァイオリン曲集」をリリースしました。ヤマハ銀座店にてゴウ芽里沙さん(ピアノ)と



ケンブリッジ・サマーミュージック・フェスティバルにて



来年で仙台フィルコンマス就任10年になります

かみや みほ
神谷 未穂 [ヴァイオリン] 2001、2002年度奨学生
パリ国立高等音楽院



NHK TV「もりすた!」のもりトーク
にレギュラー出演しています。

仙台フィルハーモニー管弦楽団のコンサート
マスターに就任して、来年で10年になります。
先輩方から3年間は本当に大変だよ!とうか
がっていました、まさにその通りでした。東日本
大震災に、出産育児もあり、朝練、夜練と受験生
のように勉強に追われる日々を過ごしました。
今は息子も5歳になり、少しずつですが余裕が
でき、千葉交響楽団、横浜シンフォニエッタでも
コンサートマスターをし、素晴らしい指揮者、ソリスト、
メンバーから大いに刺激を受けています。音楽
による復興はこれからも続けていきます。



2019年春にフォルテピアニストの平井千絵さん、
チェリストで夫のエマニュエル ジラルールとシュ
ベルトの新CDをリリース予定!
(写真はレコーディング時)



©アールアンブレ

音楽に関わる毎日を過ごしています

つに なおき
津國 直樹 [バリトン] 1997、1998年度奨学生
ウィーン国立音楽大学大学院



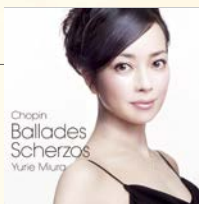
帰国後、びわ湖ホール声楽アンサンブルで7年活動
しました。その後たびたび客演でびわ湖ホール
に出演したり、関西を中心に宗教曲のソリストや
オペラに出演しています。教育活動としては沖縄
県立芸術大学、桃山学院教育大学、京都子ども
の音楽教室にて非常勤講師として後進の指導に
あたっています。2019年4月には近江の春びわ
湖クラシック音楽祭に出演予定です。



上/2015年2月「ヨハネ受難曲」
イエス役、
指揮マティアス・ユング
下/2018年9月びわ湖ホール
「ドン・ジョヴァンニ」より

5枚目のソロCDリリース

みづら ゆりえ
三浦 友理枝 [ピアノ] 2004~2006年度奨学生
英国王立音楽院



2018年は、4年ぶりとなるソロCDのレコーディング
で幕を開けました。何年も企画を温めていた
ショパンのバラード・スケルツォ全曲集という大変
ハードルの高いプロジェクトでしたが、自分の持てる
全ての力を注ぎ込むことができ、お陰様で好評
をいただいております。2019年は室内楽のアル
バムを複数制作する予定です。



上/CD「ショパン:バラード・スケルツォ全曲集」
下/浜離宮朝日ホールでのリサイタルにて



奨学生レポートより



たけやま あい
竹山 愛 [フルート]
2018年度奨学生
ミュンヘン音楽演劇大学



ロム ミュージック ファンデーション奨学生の竹山愛です。
所属する東京シティ・フィルハーモニー管弦楽団から1年間のお休
みをいただき、ミュンヘンに渡って早くも4ヶ月が経ちました。文化と芸術
の共栄するミュンヘンには多くの素晴らしいオーケストラや歌劇場が
あり、ミュンヘン以外の街で開かれる演奏会にも足を運んでいます。
世界最大のビール祭「オクトーバーフェスト」や美しいアドヴェントの
季節にはクリスマスマーケットなど、初めてのヨーロッパでのクリスマス
や年越しを経験し、とても充実した時間を過ごしています。



現在、私はバイエルン放送交響楽団の首席奏者フィリップ・ブークリー
教授のクラスで学んでいます。世界屈指のオーケストラで演奏されて
いる先生のもとで、改めて学生に戻り学べることは本当にありがたいな
ことです。個人レッスンは二重奏の初見大会から始まりです。バロック
やクラシック、新しい作品までさまざまですが、先生の初見能力と
楽譜から音楽を読み取る早さ、絶対に崩れないテクニックに毎回脱帽
しています。音楽面に加えて、先生の「多忙なオーケストラ奏者」と
しての生活スタイルも私の興味の対象です。

渡欧4ヶ月の私の課題はやはり言語やコミュニケーションで、しばしば
話題の少なさに悩まされています。さまざまなことに関心と疑問を
持ち、たくさんの旅をさせて、良い環境にいられる今こそできる視野の
広げ方を考えながら、前向きに取り組みたいと思います。
ミュンヘンで気づいたことは、街が静かなことです。東京では、お店の
BGM、信号機の音、駅の発着音、誰かのイヤホンからの漏れてくる音
が混ざって騒々しいので、私も常にイヤホンで音楽を聴いていました
が、ミュンヘンの街で聴こえてくる音といえば、路上パフォーマーが
奏でる音楽と教会の鐘の音くらいで、いつからか自分のイヤホンから
流れる音楽が一番騒々しく感じるようになり、こちらではイヤホンを
付けて歩くことがほとんど無くなりました。これは私にとっては大きな
変化で、疲れていない耳と心で聴く音楽はこれまでとは違う景色を
見せてくれることに気づき、自然と生活にもメリハリがつき、以前よりも
心穏やかに生活できています。演奏においても自然と自分の欲求や
内側の声を聞いているように感じます。

2019年3月には東京シティ・フィルハーモニー管弦楽団の海外公演
でロシアに行きます。まだ渡欧して間もないですが、経験してきたこと
を少しでも音に変えてオーケストラに貢献できるように頑張りたいと
思います。

- 1 曇り空が続く冬のミュンヘン、国立歌劇場前にて
- 2 R.シュトラウスの母の実家であるビール醸造所、
ハッカープショールのオクトーバーフェスト
テントにて
- 3 門下生とブークリー教授を囲んで
- 4 2020年より改装工事が始まるガスタイク内の
フィルハーモニーにて



奨学生レポートより



しのはら ゆうな
篠原 悠那 [ヴァイオリン]
2018年度奨学生
国際メニューイン音楽アカデミー

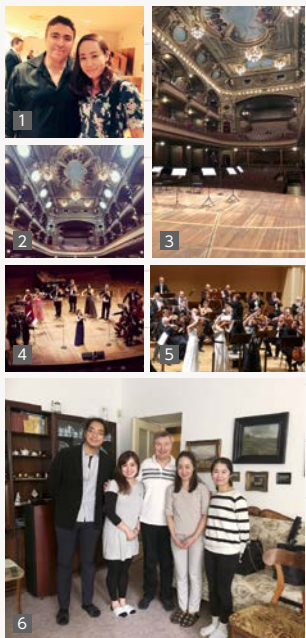
ローム ミュージック ファンデーション奨学生の篠原悠那です。私は、桐朋学園大学の推薦により、スイスのジュネーブ近郊レマン湖のほとりにあるロールという静かな街の国際メニューイン音楽アカデミーで、マキシム・ヴェンゲーロフ先生に師事して3年目になります。アカデミーではヴェンゲーロフ先生のソロや室内楽のレッスンの他、ヨーロッパ各地で室内合奏コンサートを行ったり音楽祭に出演したり、毎年3月にはスイスを代表する優雅で美しいヴィクトリアホールで演奏会をするなどの経験を通して、演奏家としての在り方を日々実践的に学んでいます。

アカデミーのお母さんの存在、ベテランピアニストのOlgaさんからも得ることがとても多く、少人数でアットホームな雰囲気のおかげで、日本とは違うゆっくり静かに流れる時間を過ごしています。留学前の2016年秋にARDミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門でカルテット・アマーピレのメンバーとして第3位に入賞することができました。コンクール直後にジュネーブとベルリンに留学したメンバー2人と日本で学ぶ2人で、カルテットの遠距離演奏活動が始まりました。

2018年も海外組の一時帰国時、演奏会やコンクール、音楽祭参加と疾風怒濤の夏休みを過ごしました。

9月、名古屋で行われた第4回宗次ホール弦楽四重奏コンクールで第1位と聴衆賞を受賞できたことは心に残る出来事でした。コンクールではチェコの元プラジャークカルテットのレメシユ先生の公開レッスンを受講し、ヤナーチェクの演奏解釈や音楽的な表現など、チェコの音楽家だからこそそのアドバイスをたくさん受け、劇的に自分達の音楽が変化するのを実感しました。

数日後出発したチェコの国際音楽祭ヤングプラハでは、カルテットリサイタルの他、伝統あるドヴォルジャークホールで行われたファイナルコンサートでNational Theater Orchestraと共演しました。合間には、あのスメタナカルテットが練習をしていた家でお食事をいただいたり、ドヴォルジャークが過ごした家を訪問し末裔の方からお話をうかがうこともできました。そしてなによりも、プラハでレメシユ先生に再会し、ご自宅でレッスンを受けられたことには不思議なご縁を感じました。2019年春からは桐朋学園大学大学院修士課程にも在籍する予定です。勉強が続けられることに感謝し、今後も精進してまいります。



1 マキシム・ヴェンゲーロフ先生と
2 3 ステージからのヴィクトリアホール
4 スイス・ヴィクトリアホールでの演奏会
5 プラハ・ドヴォルジャークホールでの演奏会
6 プラハでのレメシユ先生との再会



ローム ミュージック ファンデーション ブログでは、現役奨学生からの



いがし かおるこ
五十嵐 薫子 [ピアノ]
2018年度奨学生
桐朋学園大学大学院

ローム ミュージック ファンデーション奨学生の五十嵐薫子です。2018年度よりローム ミュージック ファンデーション様のお世話になることができ、早速8月に京都で行われたスカラシップコンサートに参加しました。

私は奨学生1年目なので本来は鑑賞のみなのですが、ヴァイオリンの吉江美桜さんに誘っていただき、シュトラウスのヴァイオリンソナタ 第1楽章を弾くことができました。

奨学生として初めての演奏ということで少し緊張しましたが、シュトラウスのソナタは何回か弾いていて大好きな曲なので、吉江さんと本番も盛り上がり弾けて嬉しかったです。同時に行われた奨学生認定式では、「奨学生の方も“ロームミュージックフレンズ”の一員です!というお話があり、自分もそこに加わったのだと、新しい家族ができたような温かい気持ちになりました。

ローム ミュージック ファンデーションの奨学生の方たちには、ピアノにも弦楽器にもたくさん友人がいるので、心配なく楽しい数日間を過ごすことができ、また久しぶりに会えた先輩たち、そして初めてお会いした方々とも親しくなることができて、本当に貴重な機会でした!他の奨学生の方たちの素晴らしい演奏を聴き、留学やご活動のお話をうかがうことで世界が広がり、良い刺激になりました。

現在、私は桐朋学園大学大学院の修士課程に在学していて、2018年度で修了の予定ですが、博士に進むか、留学するかで迷っていて、先輩方の色々なお話を聞く機会には有難いものでした。

修士課程では、論文を書くか、レポート(論文より短め)にするかを選ぶことができます。私は、せっかくなので論文を書いています。秋は演奏会なども多いので、練習や本番の合間にカフェで論文を鬼の勢いで書いて、更にその合間に細々した用事を片付けなければなりません。

実技の先生をはじめ友人や論文の先生など、皆さんが優しいので、精神的にもとても心強く、毎日の活力源になっています。周りの方々に感謝しつつ、一層精進していきます。頑張ります!



1 2 スカラシップコンサートにて
3 4 スカラシップコンサートを終えて
5 ローム ミュージックファンデーション奨学生の懇親会にて

レポートや財団の事業の紹介などを掲載しています。

<https://micro.rohm.com/jp/rmf/blog/>



ロームシアター京都 ミュージックサロン

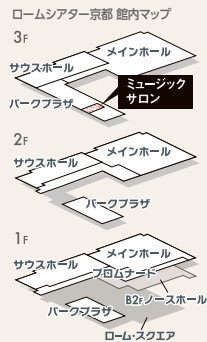
ロームシアター京都の開館と同日である2016年1月10日にオープンしたミュージックサロン。音楽とさまざまな形で触れ合うことができる施設として各種イベントを開催し、これまでに多くのお客様にご来場いただいています。

■「ミュージックサロン」施設概要

場 所：ロームシアター京都 パークプラザ3階東側
面 積：約96㎡
定 休 日：臨時休館日を除き年中無休
営 業 時 間：10:00～19:00
利 用 料 等：無料、原則出入り自由（一部整理券が必要な場合あり）
主 要 設 備：7.1chサラウンドシステム、120インチスクリーンプロジェクター、演奏スペースなど
主 な 開 催 内 容：コンサートなどの映像・音源の放映、イベント（コンサート、セミナー、資料展示等）の開催



©上田祐勢



ミュージックサロン スケジュール

期 間		内 容
2018.3/21	イベント	トーク&コンサート 魂の楽器ホルン～世界一難しいと言われる金管楽器～
4/2～4/15	上映会	ヴァイオラってどんな楽器？ オン ザ・スクリーン
4/16～4/30	上映会	クラリネットをあなたに オン ザ・スクリーン
5/1～5/31	上映会	京都・国際音楽学生フェスティバル オン ザ・スクリーン
5/20	イベント	トーク&コンサート オーボエで歌い、舞う！～ここに沁み入る音色～
6/1～6/15	上映会	作曲家について知ろう オン ザ・スクリーン
6/16～6/30	上映会	舞曲でめぐるヴァイオリンの魅力 オン ザ・スクリーン
7/1～7/15	上映会	トランペットの魅力、再発見！ オン ザ・スクリーン
7/16～7/31	上映会	歌うコントラバス オン ザ・スクリーン
8/1～9/15	上映会	スカラシップ コンサート オン ザ・スクリーン
8/4	イベント	トーク&コンサート ハープの優雅な調べ～知られざるハーピストの苦悩～
9/17	イベント	トーク&コンサート 木管のお父さん、ファゴット～魅力ある低音のダンディズム～
9/19～11/29	展示会	オペラの扉2018～KNOCKING ON THE DOOR, OPERA EXHIBITION～
12/1・2	イベント	トーク&コンサート ベートーヴェンの世界 三大ピアノ・ソナタ ～ベートーヴェンが愛した楽器～
12/4～1/17	展示会	小澤征爾音楽塾展2019 第1部
1/19～2/0	イベント	トーク&コンサート ベートーヴェンの世界 ～弦楽四重奏で読み解くベートーヴェン～
1/22～3/28	展示会	小澤征爾音楽塾展2019 第2部
2/16	イベント	小澤征爾音楽塾展コンサート Vol.1 チェロ
3/23	イベント	小澤征爾音楽塾展コンサート Vol.2 ヴァイオリン
3/24	イベント	小澤征爾音楽塾展コンサート Vol.3 クラリネット

2018.12/1, 2
トーク&コンサート

ベートーヴェンの世界 三大ピアノ・ソナタ ～ベートーヴェンが愛した楽器～

今回から新しく“作曲家シリーズ”がスタートし、最初にベートーヴェンを取り上げました。第1回目は、“ピアノ”に焦点を当て、ドイツで研鑽を積んだピアニスト・松本和将さんが、演奏とお話を交えてさまざまな視点からベートーヴェンの魅力に迫りました。



2019.1/19、20
トーク&コンサート

ベートーヴェンの世界 ～弦楽四重奏で読み解くベートーヴェン～

作曲家シリーズ第2回目は、“弦楽四重奏”に焦点を当て、ヴァイオリニスト・磯絵里子さんをはじめ、瀧村依里さん（ヴァイオリン）、原ハーゼルシュタイナー麻理子さん（ヴィオラ）、西谷牧人さん（チェロ）の4人が弦楽四重奏を通して、ベートーヴェンの世界を紹介していただきました。



2018.12/4~2019.3/28

小澤征爾音楽塾展2019

世界的指揮者である小澤征爾さんの熱い思いから始まった若手音楽家の育成プロジェクト、小澤征爾音楽塾。小澤征爾さん直筆の書き込み入りの楽譜や、過去の公演で使用された舞台衣装、過去のポスターなどを集めてその貴重な資料を公開、多くのお客様にご来場いただきました。



小澤征爾音楽塾展コンサート

小澤征爾音楽塾展の期間中、過去に参加した塾生OB、OGによるコンサートも開催しました。今回のオペラの題材である「カルメン」をテーマに、チェロ、ヴァイオリン、クラリネットによる演奏をお届けしました。

Vol.1 チェロ編 2019.2/16 遠藤 真理(チェロ)、三浦 友理枝(ピアノ)



Vol.2 ヴァイオリン編 2019.3/23 青木 調(ヴァイオリン)、日下 知奈(ピアノ)



Vol.3 クラリネット編 2019.3/24 金子 平(クラリネット)、吉武 優(ピアノ)



奨学生一覧

(各分野五十音順)

ヴァイオリン/103人

青木 尚佳
青谷 友香里
アシュリー マリア アヤ
東 珠子
菅井 京子
荒井 優利奈
安彦 千恵
伊賀 あや
石橋 幸子
泉原 隆志
磯 絵里子
糸井 真紀
伊藤 文乃
井上 奈央子
上野 明子
植村 太郎
植村 菜穂
植村 理葉
牛草 春
エリック・シューマン
尾池 亜美
王 中男
大江 馨
大岡 仁
西川 莉紗
大谷 玲子
岡崎 慶輔
岡本 誠司
小川 恭子
小野 明子
榎本 大進
加野 景子
神尾 真由子
神谷 未穂
川村 奈葉
木嶋 真優
岸本 萌乃加
北川 千紗
城戸 かれん
木村 悦子
清永 あや
日下 紗矢子
倉富 亮太
黒川 侑
郷古 廉
小林 宥成
小林 美緒
小林 美樹
佐橋 まどか
佐藤 久成
篠原 悠那
志満 直美

島田 真千子

島原 早恵
清水 有紀
白井 麻友
菅井 京子
鈴木 愛理
鈴木 舞
周防 亮介
高木 凜々子
滝 千春
瀧村 依里
田島 悠子
立上 舞
田中 晶子
田中 晶子
谷本 華子
玉井 菜穂
千葉 水晶
辻 彩奈
坪井 夏美
長尾 春花
中島 麻
中村 大地
成田 達輝
加藤 文枝
西澤 和江
二瓶 真悠
林 悠介
原 麻里亜
原田 亮子
福田 廉之介
藤江 扶紀
外村 理紗
前田 志乃
正戸 里佳
松川 暉
松田 理奈
三上 亮
村田 美英
毛利 文香
守屋 剛志
森山 まひる
安田 理沙
矢野 玲子
山根 一仁
梁 美沙
弓 新
湯本 亜美
吉江 美桜
吉田 南
米元 響子
渡邊 ゆづき

ヴィオラ/12人

赤坂 智子
大野 若菜
金丸 葉子
坂口 翼
杉田 恵理
瀧本 麻衣子
田原 綾子
中島 悦子
原 麻理子
牧野 葵美
山崎 智子
渡邊 千春

チェロ/37人

伊東 裕
伊藤 悠貴
上野 通明
上村 文乃
植村 葉夏
江口 心一
遠藤 真理
岡本 侑也
奥田 なな子
加藤 文枝
門脇 大樹
唐沢 安岐奈
熊澤 雅樹
佐々木 蘭望
笹沼 樹
佐藤 晴真
高木 慶太
辻本 玲
中木 健二
長谷川 彰子
林 裕
樫本 瑠音
平野 朝水
藤井 泉
藤原 秀章
堀江 牧生
松山 翔子
マーク・シューマン
水野 優也
三井 静
峰本 更
宮田 大
森田 啓佑
山上 ジョアン 薫
山本 徹
横坂 源
渡邊 方子

クラシックギター/4人

谷辺 昌央
藤元 高輝
松本 大樹
山田 唯雄

ヴィオラ・ダ・ガンバ/1人

酒井 淳

フルート/20人

阿部 礼奈
井坂 実樹
岩瀬 桐子
上野 星矢
大久保 彩子
久保 順
倉田 優
小山 裕幾
庄田 奏美
瀧本 実里
竹山 愛
中村 薫
萩原 貴子
藤井 香織
本宮 湖心
増本 竜士
森岡 有裕子
八木 瑛子
若林 かをり
渡邊 玲奈

オーボエ/4人

荒 絵理子
岡山 理絵
田代 奏子
本多 啓佑

クラリネット/10人

梅原 希枝
金子 平
小林 知世
小山 洋子
白子 正樹
辻本 聡子
中川 知美
原田 綾子
福田 さあや
吉田 誠

サクソフォン/2人

中島 諒

ファゴット/3人

小山 莉絵
中野 陽一朗
藤村 踊子

トランペット/2人

菊本 和昭
佐藤 友紀

トロンボーン/2人

清水 真弓
山本 浩一郎

ユーフォニウム/2人

安東 京平
佐藤 采香

打楽器/5人

池上 英樹
岩見 玲奈
峯野 勢津子
通崎 睦美
福山 直子

ハープ/5人

景山 梨乃
シュレイファー 弓子
高野 麗音
林 千佳世
福井 麻衣

パイプオルガン/1人

椎名 雄一郎

チェンバロ/2人

北御門 はる
脇田 英里子

ピアノ/128人

浅野 未麗
有吉 亮治
五十嵐 薫子
石井 楓子
石川 武蔵
石田 啓明
石村 純
乾 絵美
今井 彩子
今田 篤
入江 一雄
岩本 恵理
梅村 知世
江澤 茂敏
江尻 南美
住谷 美帆
岡田 奏
大井 浩明
大崎 結真
大西 真由子
岡本 麻子
奥田 暁仁

奥村 友美

小沢 麻由子
越知 晴子
小野田 有紗
海瀬 京子
梯 剛之
柏原 佳奈
加藤 大樹
加藤 洋之
加野 瑞夏
神野 千恵
河内 仁志
川崎 翔子
川島 基
川田 健太郎
河村 尚子
菊地 裕介
菊池 洋子
喜多 宏丞
清塚 信也
日下 知奈
工藤 奈帆美
久保 千尋
倉澤 杏菜
黒岩 航紀
黒田 哲平
高 実希子
壽 千明
小林 愛実
小林 有沙
小林 海都
齊藤 一也
坂本 真由美
崎谷 明弘
佐々木 宏子
佐竹 裕介
佐藤 卓史
佐藤 彦大
佐藤 麻理
佐野 まり子
紫垣 英二
志鷹 美紗
釈迦郡 洋介
白川 多紀
菅野 雅紀
鈴木 謙一郎
住友 郁治
関本 昌平
芹澤 佳司
反田 恭平
高田 匡隆
高橋 礼恵

内匠 慧

田中 香織
田中 正也
田村 響
津嶋 啓一
津田 裕也
鶴見 彩
土居 知子
中尾 純
中桐 望
中島 彩
長瀬 賢弘
中元 千鶴
奈良 希愛
新美 光映
沼澤 淑音
野上 真純子
萩原 麻未
橋本 尚
服部 慶子
花岡 克典
浜野 与志男
林田 麻紀
樋口 一朗
久末 航
日高 志野
平松 悠歩
福田 和子
真隅 政大
松尾 久美
松岡 淳
松本 和将
丸山 耕路
丸山 凪乃
萬谷 衣里
Elezovic MIA
三浦 友理枝
三戸 あけみ
三宅 麻美
宮下 彩子
宮田 理生
務川 慧悟
村田 理夏子
村松 珠美
森田 義史
矢島 愛子
山田 剛史
山本 亜希子
吉兼 加奈子
ティーン 吉川 右希子
吉田 友昭
吉武 優

米津 真浩

李 早恵
脇岡 洋平

オルガン/2人

福本 茉莉
宗 かおり

声楽/58人

石井 教子
市原 愛
乾 麻里子
上杉 清仁
江口 輝博
大島 京子
岡田 昌子
加藤 史幸
加藤 麻衣
川島 幸子
川原 成子
木下 周子
木下 美穂子
木村 善明
木村 里花子
蔵田 みどり
小玉 晃
小林 沙羅
近藤 圭
崔 宗宝
坂本 知亜紀
志摩 大喜
清水 俊徳
周 江平
杉原 かおり
鈴木 愛美
田邊 織恵
谷口 伸
谷村 由美子
田村 麻子
趙 非
津國 直樹
辻 裕久
寺田 功治
田 大成
富岡 明子
中川 恵美里
中嶋 俊晴
中島 康晴
鳴海 真希子
林 佑子
深瀬 廉
藤木 大地

藤谷 佳奈枝

本田 智衣
又吉 秀樹
松原 友
真野 路津紀
溝淵 悠理
峯島 望美
宮里 直樹
森野 美咲
山下 新吾
山本 美央
吉澤 淳
吉田 貴子
藍 野流
李 恩敬

指揮/21人

栗辻 聡
石川 皇太郎
伊藤 翔
垣内 悠希
川本 貢司
岸本 有理
鬼原 良尚
齊藤 一郎
阪部 慎太郎
篠崎 靖男
下野 竜也
杉本 優
橋 直真
寺岡 清高
阪 哲朗
三ツ橋 敬子
村上 寿昭
村中 大祐
森 香織
森口 真司
森田 宏樹

作曲/19人

阿部 俊祐
稲森 安太己
今井 智景
北爪 裕道
木下 正道
小出 稚子
酒井 健治
坂田 直樹
塚本 瑛子
中川 佐織
夏田 昌和

朴 炳五

松宮 圭太
松本 直祐樹
ママトウメル
山口 紘
李 大暉
渡邊 愛
渡辺 裕紀子

教会音楽/1人

小山田 薫

音楽学/16人

金 士友
真方 マキ子
真 耘
白石 悠里子
関本 菜穂子
園田 みどり
高野 裕子
東田 範子
戸祭 哲子
中村 伸子
西村 理
畑野 小百合
早坂 牧子
丸山 瑠子
村田 圭代
李 金叶

オペラ演出/4人

井原 広樹
郭 才銀
馬 金泉
森岡 純子



ローム ミュージック フレンズ No.8

—ロームミュージックファンデーションの音楽文化支援情報誌—

発行 2019年3月

企画・発行：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

〒615-0044 京都市右京区西院西中水町1

TEL (075) 311-7710 FAX (075) 311-0089

<https://micro.rohm.com/jp/rmf/>

協 賛： **ローム株式会社**

この情報誌に掲載の写真・文章の無断転載を禁じます。